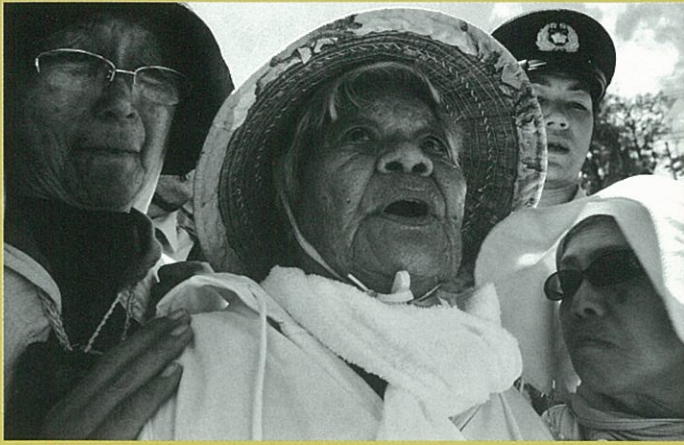


遺骨が呼んでいる・鎮魂の地図

沖繩戦の記憶を記録する写真家たち



▲豊里 友行

▼大城 弘明



▲大城 弘明



▲豊里 友行

日本の海外侵略戦争は、二千万人とも言われるアジアの人びとが犠牲になり、米軍の沖縄上陸を招き、沖縄住民の四分の一が命を落としました。

敗戦後七十一年を迎える今年、日本で唯一の地上戦となった沖繩戦の凄惨な記憶を記録としてとどめるべく、戦世(イクサユ)を撮り続けてきた写真家の眼差しを追います。

豊里友行さんは遺骨収集やガマを追い続け、若い世代から戦世への想い(ウムイ)を語ります。大城弘明さんは「チネードーリ」(一家全滅)の屋敷跡といった写真群を映し出しつつ、戦死者たちの声に耳を傾ける機会となります。批評家の仲里効さんは、登壇者二名の写真集の批評文を執筆しており、戦後七十年を越えて八十年に向かう今、沖繩戦の記憶の記録について分析します。

6/18(土) 2016年 時間：14:00～16:00
 場所：沖縄大学 3号館 101教室

登壇者
 豊里友行 (写真家)
 大城弘明 (写真家)
 仲里 効 (批評家)

プログラム

司会：須藤義人 (沖縄大学人文学部准教授)

第一部 14:00～15:00

豊里友行「遺骨が呼んでいる・オキナワンプルー」スライドショー・トーク
 大城弘明「鎮魂の地図」スライドショー・トーク

休憩 15:00～15:10

第二部 15:10～16:00

仲里効の写真批評＋クロストーク「戦死者たちの声を撮ること」

聴講料
 300円
 事前予約不要

■問い合わせ先 沖縄大学地域研究所 沖縄県那覇市国場 555 番地

【TEL】098-832-5599 【FAX】098-832-3220 【MAIL】chiken@okinawa-u.ac.jp